

学習内容報告書2

学校名	本部町立瀬底小学校
授業者	宮城光（5年担任）、他

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

単元2 「サンゴの海を守るために私たちができることは？」

1-2. 学年

5年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、国語、図工、学級活動、道徳、行事

1-4. 単元の概要

1学期に実施した単元1「豊かな体験を通して感性を磨くとともに瀬底島の現状等を知る」における体験学習やサンゴ学習、竹富小学校とのオンライン交流等を通して様々な気づきが生まれた。本単元では、更にサンゴに関する学習を深め、そこから感じたり気づいたり考えたりしたことをもとに、サンゴの海を守るために自分たちができることを考える学習へと発展した。読み聞かせで紹介された「エリセラさんご」の著者で、以前、瀬底のサンゴを研究していたアメリカ在住のキャサリン・ミュージックさんと繋がることができ、そこから取り組んだ創作劇を学習発表会で披露した。また、図工では版画の時間に共同で「サンゴの海」を製作したり、まとめ方や発表の仕方を国語の単元とつなげたりするなど、本単元を通して教科横断的な学習となった。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

今年度初めてシュノーケリング体験をした5年生は、瀬底のサンゴの海に実際に触れることにより、その美しさを感じ、改めて瀬底島を誇りに思うきっかけとなった。さらに学習を進めサンゴの海が直面している問題等を知ることにより、「守りたい」という気持ちが生まれ、自ら考え行動できる児童を育むことを目指し、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ① 海に親しむ 《学びに向かう力・人間性等》
- ② 海を知る 《知識及び技能》
- ③ 海を守る 《学びに向かう力・人間性等》
- ④ 海について発信する 《思考力・判断力・表現力等》

1-7. 単元の展開（全 43 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	<p>☆単元 1 で実施したシュノーケリング体験等を通して気づき考えたことをまとめるとともに、自分たちにできることを話し合い行動する。</p> <p>◎「自然を守る力」（道徳との関連）</p> <p>◎自分たちにできることを話し合う</p> <p>◎瀬底ビーチのクリーン活動</p> <p>◎ウミガメ放流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 年間お世話したウミガメを放流した。 <p>◎個人新聞作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シュノーケリングを通して感じたこと 	<p>◎道徳の教材内容と関連付けて、瀬底の自然について自分事として考える。</p> <p>◎自分たちにできることを話し合う</p> <p>【学級活動(1)】②知る ③守る</p> <p>◎瀬底ビーチのクリーン活動</p> <p>【総合(1)】③守る</p> <p>◎ウミガメ放流</p> <p>【総合(3)】①親しむ ③守る</p> <p>外部連携：美ら海水族館</p> <p>◎個人新聞作成 【総合(3)】④発信</p>
27	<p>☆より深く学び発信する</p> <p>◎サンゴの研究者（絵本作家）とのオンライン交流を通して「エリセラさんご」を知る</p> <p>◎サンゴの創作劇の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エリセラさんご」の絵本の世界を劇にする。 <p>◎瀬底の島や海についてのインタビューし、それをもとに意見文を書く。</p> <p>◎サンゴ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 琉球大学瀬底研究施設を見学し、酒井教授、山城教授から講義を受ける。 <p>◎学習発表会にて創作劇を発表</p> <p>◎版画の共同制作（サンゴの海）に取り組み、校内に掲示する</p> <p>◎サンゴ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美ら島財団の野中さんをお招きして、サンゴに関する講義を受ける。 	<p>◎絵本作家とのオンライン交流</p> <p>【総合(2)】②知る</p> <p>外部連携：キャサリン・ミュージック</p> <p>◎サンゴの創作劇の取組</p> <p>【総合(4)】③守る ④発信する</p> <p>◎関係者へのインタビュー</p> <p>【総合(2)、国語(5)】②知る ④発信する</p> <p>外部連携：区長、ダイビング業者</p> <p>◎サンゴ学習 【総合(2)】②知る</p> <p>外部連携：琉球大学 酒井教授、山城教授、神座さん</p> <p>◎創作劇発表 【行事(1)】④発信する</p> <p>◎版画の共同制作 【図工(10)】④発信する</p> <p>◎サンゴ学習 【総合(1)】②知る</p> <p>外部連携：美ら島財団 野中さん</p>
7	<p>☆サンゴ学習の総まとめ</p> <p>◎「ひみつを調べて発表しよう（国語）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで学んできたことをスライドを使って相手に伝わるようにまとめる。 <p>◎サンゴ学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手意識を持って発表する。 <p>※当初、これまで海洋学習でお世話になった方々を招待しお礼の意味も込めて、学習の成果を発表する予定だったがコロナのため学校職員への発表に変更。</p>	<p>◎「ひみつを調べて発表しよう（国語）」</p> <p>【総合(1)、国語(5)】③守る ④発信する</p> <p>◎サンゴ学習発表会</p> <p>【総合(1)】④発信</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 1 サンゴ学習を通して学んできたことや自分の想いを相手にわかりやすく発表する。
- 2 参加者の感想を聞いたり自分の発表を振り返ったりして、サンゴ学習の成果を確認し、次年度の学習への期待を持つ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>◎サンゴ学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきたサンゴについての知識や想いを、相手にしっかり伝わるように工夫して発表。 <p>グループ①「これまでのサンゴ学習のあゆみ」 グループ②「サンゴの生態」 グループ③「サンゴを守るためにできること」 グループ④「サンゴ学習を終えての感想」</p>   <p>◎参加者からの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供たちは参加者の感想をしっかり聴き、次年度も頑張ろうという気概が見て取れた。 	<p>◎サンゴ学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つのグループに分かれてスライドを用いて、原稿を見ずに発表する。   <p>評価：④発信する《思考力・判断力・表現力等》</p>

3. 今回の活動の自己評価

単元1で実施した豊かな体験学習を経て、5年生は本単元を実施した。特徴的な点は、総合的な学習の時間を中心に、国語、図工、学級活動、行事等に関連付け、表現活動をふんだんに取り入れたことである。単元1で海に親しみ、単元2の前半では海を知る学習を多く取り入れた。後半では、学習発表会で創作劇を発表したり、インタビュー等をもとに海についての意見文を書き新聞投稿等で発信したりした。また、図工では版画の単元で「サンゴの海」と題して共同製作に取り組み、作品を校内に掲示した。

一連の学習を通して、瀬底の島やサンゴの海への関心が高まり、この素敵なサンゴの海を守りたいという気持ちが高まった。単元の最後である前述の活動はその集大成とも言えるサンゴ学習発表会で、当初お世話になった方々を学校に招待して発表を聞いてもらい、感謝の気持ちを伝える場とする予定であった。残念ながらコロナで学校臨時休業と重なり実施には至らなかったが、別日に学校職員を教室に招き発表会を行った。

どの児童の発表もふるさとを愛する気持ちが参加者に伝わり、サンゴの海に誇りを持ち堂々と発表している姿が印象的だった。

4. 今後の課題

年間を通してサンゴについての知識が深まり、多くの体験を通して環境保全の大切さを心で感じる事ができた。次年度は、新たに海洋学習が始まる一つ下の学年には、今年度の取組を参考にしながら、子供たちの気づきや考えの中から探究の形を考え取り組んでいきたい。1年間の深い学びを経験した5年生については、次年度は新たな探究で更に学びを深めさせたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にございませぬ。

